



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月4日

上場会社名 株式会社フジインコーポレーテッド

上場取引所 東 名

コード番号 5384 URL <https://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大橋 圭吾 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,427	8.2	3,718	29.9	3,694	24.2	2,855	29.1
2020年3月期第2四半期	18,884	△1.5	2,863	1.8	2,974	△2.7	2,212	△5.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,920百万円 (69.5%) 2020年3月期第2四半期 1,722百万円 (△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	115.49	—
2020年3月期第2四半期	89.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	62,426	53,825	86.2	2,177.30
2020年3月期	59,496	52,079	87.5	2,106.74

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,825百万円 2020年3月期 52,079百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	47.00	87.00
2021年3月期	—	50.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	2.8	6,800	13.2	6,850	10.9	5,200	21.8	210.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	28,699,500株	2020年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,978,431株	2020年3月期	3,979,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	24,720,650株	2020年3月期2Q	24,650,345株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により各国で経済活動が停滞し、また、貿易摩擦に加え香港問題等により米中対立の懸念が高まる中、世界経済は不透明感が一層強まりました。一方、世界半導体市場は、スマートフォン及び自動車の市場停滞の影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「STAY HOME」に伴うデータセンター及びPC向けの需要増加により、ロジックデバイス、メモリデバイスともに市況は堅調に推移したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大や米中貿易摩擦の激化に対する懸念から在庫積み上げの動きが継続しています。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高20,427百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益3,718百万円（前年同期比29.9%増）、経常利益3,694百万円（前年同期比24.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,855百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハ向け製品の販売が増加したことにより、売上高は11,840百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により3,487百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

北米につきましては、売上高は2,798百万円（前年同期比4.5%減）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は製品構成の良化により、224百万円（前年同期比48.4%増）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから、売上高は5,032百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,042百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

欧州につきましては、売上高は756百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響もあり82百万円（前年同期比26.6%減）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハ向け製品につきましては、半導体業界の稼働が高かったことに加え、シリコンウェハの在庫積み上げの動きもあったことから、ラッピング材の売上高は2,158百万円（前年同期比17.7%増）、一方、ポリシング材の売上高は前第2四半期連結会計期間において一部顧客で当社製品の在庫積み増しがあったことから、前年同期並みの4,521百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、データセンター及びPC向け需要の増加に伴う半導体業界の高稼働を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品の販売が増加したことにより、売上高は10,055百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD（ソリッドステート・ドライブ）への置き換えによる市場の縮小及び顧客の生産プロセスの変更の影響により、売上高は938百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、自動車及び産業機械向け需要の低迷により、売上高は1,699百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、2,930百万円増加し、62,426百万円となりました。これは、流動資産のその他が242百万円減少したものの、現金及び預金が2,738百万円、商品及び製品が291百万円、有価証券が200百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,184百万円増加し、8,601百万円となりました。これは、流動負債のその他が454百万円、支払手形及び買掛金が188百万円、賞与引当金が143百万円、株式給付引当金が139百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、1,745百万円増加し、53,825百万円となりました。これは、利益剰余金が1,678百万円、その他有価証券評価差額金が109百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハ向け製品の販売が増加したことから、売上高及び利益が2020年8月4日に公表した業績予想を上回る結果となりました。また、これまで未定としておりました通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス及び米中貿易摩擦の動向が当業績へ及ぼす影響は引き続き不透明であるものの、最近の事業環境を踏まえ、業績予想を開示いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,769	26,507
受取手形及び売掛金	8,228	8,119
有価証券	1,499	1,699
商品及び製品	3,695	3,986
仕掛品	988	1,031
原材料及び貯蔵品	2,610	2,481
その他	503	261
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	41,279	44,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,788	6,665
その他(純額)	7,144	7,215
有形固定資産合計	13,933	13,880
無形固定資産		
	437	383
投資その他の資産		
投資有価証券	2,939	3,096
繰延税金資産	787	893
その他	129	112
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,846	4,092
固定資産合計	18,217	18,356
資産合計	59,496	62,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,499	2,687
未払法人税等	767	898
賞与引当金	1,242	1,386
役員賞与引当金	—	57
その他	1,886	2,340
流動負債合計	6,395	7,370
固定負債		
繰延税金負債	0	—
退職給付に係る負債	752	768
株式給付引当金	157	297
その他	110	165
固定負債合計	1,021	1,230
負債合計	7,416	8,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	47,124	48,802
自己株式	△5,449	△5,448
株主資本合計	51,998	53,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	204
為替換算調整勘定	30	△25
退職給付に係る調整累計額	△44	△32
その他の包括利益累計額合計	80	146
純資産合計	52,079	53,825
負債純資産合計	59,496	62,426

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	18,884	20,427
売上原価	10,759	10,985
売上総利益	8,124	9,441
販売費及び一般管理費	5,261	5,722
営業利益	2,863	3,718
営業外収益		
受取利息	61	42
為替差益	7	—
その他	50	58
営業外収益合計	119	101
営業外費用		
為替差損	—	107
その他	7	17
営業外費用合計	7	125
経常利益	2,974	3,694
税金等調整前四半期純利益	2,974	3,694
法人税、住民税及び事業税	778	1,000
法人税等調整額	△15	△160
法人税等合計	762	839
四半期純利益	2,212	2,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,212	2,855

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,212	2,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	109
為替換算調整勘定	△508	△55
退職給付に係る調整額	14	11
その他の包括利益合計	△489	65
四半期包括利益	1,722	2,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,722	2,920



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,974	3,694
減価償却費	715	815
長期前払費用償却額	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	53	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	85	143
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	32
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△294	139
受取利息	△61	△42
為替差損益 (△は益)	7	7
固定資産除売却損益 (△は益)	5	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△36	107
仕入債務の増減額 (△は減少)	335	179
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△200	△214
未払金の増減額 (△は減少)	△67	281
その他	400	334
小計	3,942	5,535
利息及び配当金の受取額	83	57
法人税等の支払額	△875	△857
法人税等の還付額	74	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,225	4,773
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,793	△5,313
定期預金の払戻による収入	3,918	2,934
有価証券の取得による支出	△99	△500
有価証券の償還による収入	—	99
投資有価証券の取得による支出	△149	—
有形固定資産の取得による支出	△766	△601
無形固定資産の取得による支出	△79	△16
その他	△9	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△3,395
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,176	△1,176
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△15	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	△1,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	△196	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,856	145
現金及び現金同等物の期首残高	22,559	22,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,415	23,064

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	10,894	2,930	4,267	792	18,884	—	18,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,214	432	122	—	3,769	△3,769	—
計	14,108	3,363	4,390	792	22,653	△3,769	18,884
セグメント利益	2,699	151	762	112	3,726	△862	2,863

(注) 1. セグメント利益の調整額△862百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△929百万円及び棚卸資産の調整額64百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	11,840	2,798	5,032	756	20,427	—	20,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,797	550	121	—	4,468	△4,468	—
計	15,637	3,348	5,153	756	24,896	△4,468	20,427
セグメント利益	3,487	224	1,042	82	4,837	△1,118	3,718

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,118百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費△1,070百万円及び棚卸資産の調整額△50百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。